

全市連コロナウイルスの影響(2020.05.15現在)

県名	市場名	市売等近況
北海道	北海道木材市場(協)	4月9日の市は、確り予防措置講じて実施。事務所に入らず、土場での解散。6月11日の市は、状況見極めで決定。
宮城	仙台木材市場	4月16日及び17日の記念市は、確り予防措置講じ(検温、マスク、アルコール消毒、分散して弁当等)で特段の支障なく実施。感染情報もない。来客は例年の半分も、よく開いてくれたとの声も。5月13日及び17日の平市も気を配って開催の予定。 受注残の手当てで思ったより落ち込んでいないが、新規が見えない。7月までは、何とか回復を期待。 (製品)
福島	福島県木材市場(協)	・株平木材市場 4月23日記念市は、式典抜きで予防に努め競り実施予定、毎週木曜日平市も開催予定。(原木・製品) ・福島県中央木材市場 4月22日創立記念市は式典やらず入札で、競りはなしで、予防に努め、弁当は持ち帰っていただく。隔週木曜日は開催予定。(原木・製品) ・南福島原木センター 4月22日特別市は、式典抜きで予防に努め競り実施。荷動きは堅い。(原木) ・(協)奥久慈木材流通センター 4月20日花見市は、平市とし、入札だけなので平常どおり開催。今後も月2回の平市開催を予定、県内感染者の状況見て対応。(原木) ・南東北木材株平は経常通り、合板工場減産・受入減の動き、大型工場直送材の行き場なくなり市場への入荷増。価格は徐々に下がってきており、先行き心配。(原木)
千葉	千葉県木材市場(協)	4月16日の市は開催、23日、30日の市は競りは止め電話等で販売、5月7日は休止、14日は開催予定。 商い弱く、売上げ2~3割減。(原木・製品)
埼玉	埼玉林材市場	4月13日の市は開催。売上は今一つ。5月16日の市は中止、伐採は、まあまあ進捗。(原木)
埼玉	株吉真(戸田、熊谷)	4月中の市は中止。5月12日の戸田市場の記念市は中止。(製品)
東京	新東京木材商業(協)	4月の市は中止、5月は市の予定はない、次は6月。思ったより落ち込んでおらず、それなりに引き取られている。(製品)
東京	東京新宿木材市場株	3月26日の鶴ヶ島市場の記念市中止、さいたまセンター4月17日記念市特売会は延期、売れ行きダウン、プレカットの落ち込み大、職員の感染出さないよう努める。 5月は買方の記念市の予定も、延期の可能性。6月以降心配。(製品)
東京	株東京木材相互市場	・本社 基本在宅・テレワーク・吹上市場 5月記念市中止、必要最小限の人数で業務執行。・筑波市場の5月21日記念市は延期。当日は木材商談会とし、相対販売、各定例市は中止。交代で在宅勤務。・相センター 営業時間短縮、職員時短・交代勤務。・在宅勤務。集金、取引先との接触回避及び自粛継続。・小山センター交代で在宅勤務。・プレカット CAD部員一部在宅、他部員定時退社。積極的営業活動自粛。事務所内レイアウト変更。・筑波銘木市場4月10日の市は開催、同24日の記念市は競りを止め、随契販売で実施、5月15日の市は原木・製品とも中止、同29日特別市は状況見てやり方を検討。(原木主)・マルタピア(三重県)4月21日記念市は予防措置して競りで開催(顧客、立地もあって)。5月12日定例市はバス、同26日記念市は予防措置の上、開催予定。5月中旬まで有給取得、在宅勤務で人数減らし営業。(原木) 夏以降本格的な市況悪化懸念が出ている。与信管理でも厳しい内容の報告徐々に増。
東京	東京木材市場株	3月の記念市等は実施、4月の市は中止、5月も非常事態宣言延長を受けて中止。相対、電話等での取引により売上落ちていない。量少ないながら引き取られている。現場は動いているが、その後が見えない。(製品)
東京	丸字木材市売株	4月~5月は立ち合い(競売)は中止、5月30日の合同市はやりたい。売上約1割減、5月以降、様子見て対応。(製品)
東京	東京中央木材市場株	4月8日の記念市は予防措置に万全を期して実施。以降風食提供取りやめ。4月22日の市から来場者検温実施し規模縮小し開催。5月13日の市以降全員にフェースガード配布、5月27日の市も確り対策の上、通常開催の予定。売上は減少傾向、今後の荷動き心配。(製品)
東京	東京銘木(協)	4月16日の記念市は中止、付売・入札で対応し競りは行わない。新規入荷を抑制。(製品)
神奈川	株横浜運合木材	4月10日予定していた年2回の記念市を取り止め、市場の今年度の実績は悪くなったが、来年度、取引先等の資金繰り等心配。4月売り上げはプラス、6.7月は?。(製品)
神奈川	ナイス株	4月開催予定の記念市を中止または延期、5月以降も市見合わせ。市以外でも出勤者控え、在宅、訪問も自粛、特定地域以外は状況みて再開検討。分譲住宅は動き止まったが、注文住宅は堅調。(製品)
神奈川	株相模原木材センター	5月の記念市を6月に延期。一部で信用不安が生じている状況。(製品・住器)
愛知	株東海木材相互市場	良材は現物熟覧・競りの世界なので苦慮、並材も動き悪くなってきている。大口市場4月17日、西部市場4月21日の記念市は風食を外して実施、5月の市は予定通り実施。入荷減、4月は素材が75%、製品は100%の売り上げ、プレカットは出ており受注分は動いている。(原木・製品)
愛知	西垣林業株	3月まではコロナウイルスの影響と言える大幅な落ち込み無かったが、4月に入り製品荷動きが明らかに悪くなってきた。愛知県独自の緊急事態宣言延長を受け、宣言期間(4/10~5/6)の全ての平市/特市を「特売日」とした。競り/売り立て/商談会等集客を伴う一切のイベントは開催せず、「締日」のみとなる。日々の市場業務は通常通り。市取止めにより、販売機会減少しているが4.5月はコロナ前の受注の反映で、コロナの影響は6~7月以降に現れる。(製品)
三重	ウッドピア市売協同組合	4月8日に特市(原木&製品)を予定していたが、原木&製品とも中止。感染の危険性のため苦渋の選択。5月は入札にチャレンジ。原木は4月の平市でそれなりに売れたが、製品売れない。出材減少。(原木・製品)
大阪	株大阪木材相互市場	徐々に影響が出て、売上げが2割程度落ち込み、職員も三交代ローテーション、来週一週間時間短縮営業。(製品)
奈良	西垣林業株株平本社等	奈良県原木6市場は、4月の市売は奈良県銘木協(4月14日の市中止)以外は全て開催。現時点での5月の開催予定は西垣林業の14日の市の販売方式変更以外は特に連絡がないが、コロナ拡大、買方集客・伐採・入荷状況等で個別対応が出てくる可能性。①奈良県銘木協 4月2日製品市、対策として開催。4月14日原木市は中止。②西垣林業株井市場 4月17日原木市は対策確りとして開催、5月14日定例市は競りを止め、付け売り特売に変更して実施、5月28日特別市は対策講じて実施予定。市況低調続き、5月に入り民有林出材取り止める現場も、素材生産業者も除伐等にシフトし、価格下落に加え、伐り匂も悪くなり、今後出材は減少傾向。
岡山	真庭木材市売株	市は通常通り、ヒノキ原木価格の下落著しい(13,000円/m)、スギ(9,000円/m)及びバイオマス用材(7,000円/m)変わらず。原木価格下落で素材生産業者は間伐委託施業は良いが、買取山は大変、徐々に出材減少している。製材工場も製品売れず困っている。 4月6日及び5月2日の市は開催。市の度に500円~1,000円下がっていく状況。(原木)
岡山	株津山産合木材市場	市は通常通り、原木価格の下落著しい(ヒノキは柱取り13,500円~13,000円/m)、合板向け原木も1,000円下がり、大手製材向けも500円下がっている。製品も価格・売上悪い。住宅も5月まではまだ何とかだが、6.7月心配。材価下落による会社の伐採請負単価見直しで、業者は大変。国有林のシステム販売を注視。(原木・製品)
広島	株福山中央木材市場	ヒノキ原木が14,000~15,000円/mと1,500円前後下がった。地域により、コロナの状況異なり、状況に応じた行政対応を望む。不動産部門も賃料等で影響が生じている。(原木)
愛媛県	大木坑木(有)宇知島出張所	市は月2回通常通り開催しているが、直近では、来客が3分の1程度。製品も売れてない様子。原木価格徐々に下落。(原木)
徳島	株ゲンゴク	淡路の顧客多く来場者減、売上も2割程度落ちている。消費税駆け込み反動等もあり低調。月3回に市も競りを止めて、付売で対応。リフォームもコロナの影響もあり工期伸びている。(製品)
福岡	福岡市木材(協)	月2回の市は4月の後半の市は中止、売上2割程度落ち込み、5月13日の市は入札で実施。既受注分の仕事はあるが新しいものが見えず、コロナの影響で外壁はいいが、内装・リフォームは止まっている。(製品)
福岡	株福岡県新小倉木材市場	4月24日の製品平市を中止、5月も引き続き。(製品)
長崎	佐世保木材(協)	4月の市は中止、5月は開催。市以外の特売は来客、市況とも去年に比べ落ちている。(製品)
大分	株ナンブ木材流通	原木は輸出は安いと動いている、製材も買ってくれてはいる。更にバイオマスにも受けてくれていが契約減。(合板工場受入は半分)、平均価格11月の11.5千円/mが下落し、少し戻して9.35千円/mに。(原木)
大分	日田地区原木市場(協)	①日田中央木材市場 5月1日の市を中止し5月18日市実施②日田木材市場 5月7日の市を中止し5月19日市実施③日田郡森林組合 5月8日の市を中止し5月20日市実施 ④日田木協市場 5月11日の市を中止し5月25日市実施 ⑤九州木材市場 5月12日の市を中止し5月26日市実施⑥日田市森林組合 5月13日の市を中止し5月27日市実施 ⑦ナンブ木材流通 5月15日も市中止し5月29日市実施。(原木)
熊本	株後木材株	好天で出材伸び、原木1,000~1,500円(一時期から見ると3,000円)下がり、スギ、ヒノキ混みでは9,000円~8,500円/m、バイオも6,000~6,500円。製品も動かず、5月11日の原木市(月2回)も、入札方式だが低調、単価も上がらず、売上は8割程度。合板は取ってくれている。コロナ対策の徹底(周知・検温等、お客様にもマスク着用・購入のお願い)、月3回の製品市の中、中(19日)の市の取りやめ、市での弁当休止等。